



熊本リハビリテーション学院

〔所在地〕 〒 861-22

熊本市小山町 400-1

〔電 話〕 0963 (89) 1133~5

〔学 科〕 理学療法学科・作業療法学科

〔定 員〕 各学科共 25 名

〔修業年限〕 各学科 3 カ年 (昼間)

〔倍 率〕 理学療法学科 6 倍 (昭和 58 年入試)

作業療法学科 3 倍 (")

〔創 設〕 昭和 56 年 4 月

設 立 主 旨

社会機構の複雑化に伴って疾病構造もその複雑度を増し、病める人々の社会への復帰に際して直面する問題も多様化するようになった。このような現代の実情の中で、リハビリテーションの重要性が認識され、その一翼を担う理学療法士・作業療法士への期待度がますます高まってきた。その社会的要請に応えるべく、心・技・体のバランスのとれた理学療法士、作業療法士を輩出することを目的として本学院は九州では第 2 番目の 2 学科併設校として設立された。

環 境

本学院は加藤清正公以来の歴史を誇る森と水の都・熊本市の北東に位置し、東に世界最大のカルデラとしてその名も高い阿蘇外輪山を望み、また、西には日本三大名城のひとつである熊本城や水前寺公園を中心とする市街地を見おろす小高い丘陵地にその姿を見せている。市街地の雑踏を離れ、大いなる自然のふところに抱かれたような落ち着きを醸し出す周囲環境は、人格形成と学問の両面での研鑽に最適の条件を備えているといえよう。さ

らに九州縦貫自動車道熊本インターチェンジより 3 分、熊本空港より 15 分と県外各所からの交通も極めて便利である。

教育陣は熊本大学をはじめ県下各大学、第一線の各病院から師を得、その上、地の利により県外からの師も得て、学生は勉学に課外活動にスポーツにとその青春を燃焼させている。

教 育 方 針

本学院の教育理念の根源を成しているものは端的に言えば、「現状への反省」・「原点への復帰」そして「未来思考」の 3 つである。

本来、リハビリテーションは専門家だけの活動ではなく、地域社会と共にあってこそ、その意義を発揮するという観点に立ち、カリキュラム外にさまざまな課外活動を試行している。例えば、ある福祉工場に体験入社して障害者と共に汗を流し、親しく交わる場を持ったり、あるいは保健婦活動の一環である訪問看護に同行して、生の現実を目のあたりにすることなども全ては上記観点によるものである。その他に、クラス全員が起居を共にして互いに論をたたかわせることによって自己を分析できる能力や、他者を理解するための洞察力を身につける感受性訓練 sensitive training (OT 学科) なども行っている。

3 年間という限られた短い期間ではあるが、それらの活動を通じて近い将来自らが参加するリハビリテーション活動の真のあり方を、大局的見地に立って絶えず思考し、推進していけるような理学療法士・作業療法士を育成したいと考えている。

(理学療法学科 小川 克巳)

(作業療法学科 古川 昭人)